

経営のための仮説検定

2024年2月22日

学習院大学経済学部経営学科 教授

白田 由香利

コロツケの重量平均値に違い はあるのか (統計的仮説検定)

最近、円安で牛肉の量減っていませんか？

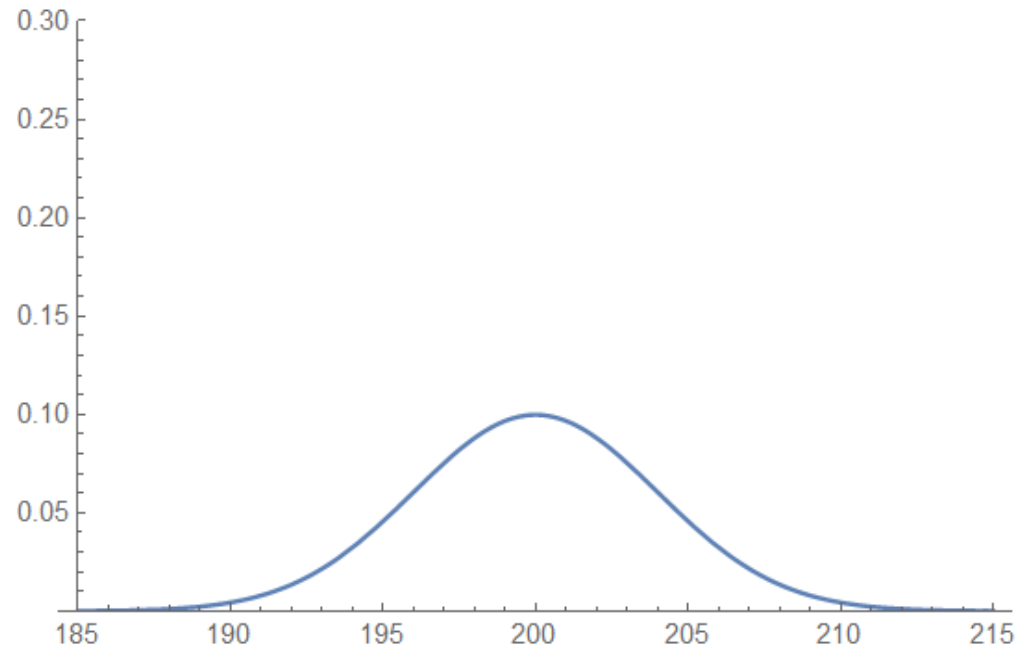


仮説検定

- お肉屋さんのビーフコロツケが200 g と言って売っている（**お説**）
どうも少ない気がしてならない(仮説からのずれ)
- 30個買ってきて（標本）， 平均値（標本平均値）を調べてみよう
- 仮説をたてて検証する。
- **帰無仮説**：コロツケの母集団の平均は200 g である
 $\mu = 200$
- **対立仮説**：コロツケの母集団の平均は200 g より少ない
 $\mu < 200$
- **標本**に基づいて仮説を検証する。
- 標本平均値が、帰無仮説から大幅にずれていたら、**帰無仮説は棄却**される。対立仮説が成立する。
- 標本平均値が、200 g よりも少し小さいだけであれば、**帰無仮説は棄却**されない。

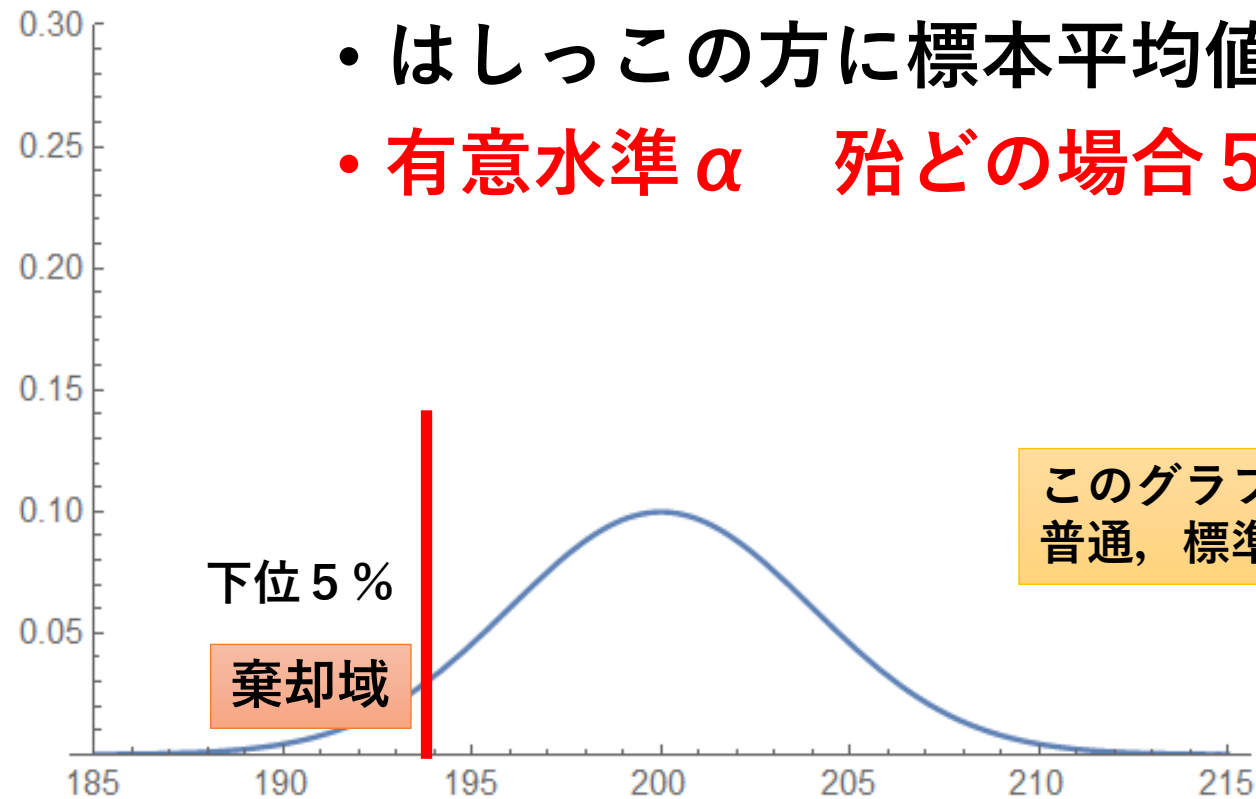
コロッケの母集団の平均は200 g である この母集団とは？

- このお店が平均200 g で作り続けた場合の、膨大な数のコロッケ集団のことを仮想的に考える。
- 200 g で作っているつもりなのだが、多少の増減はある。
- このような確率密度分布になる



仮説検定の有意水準

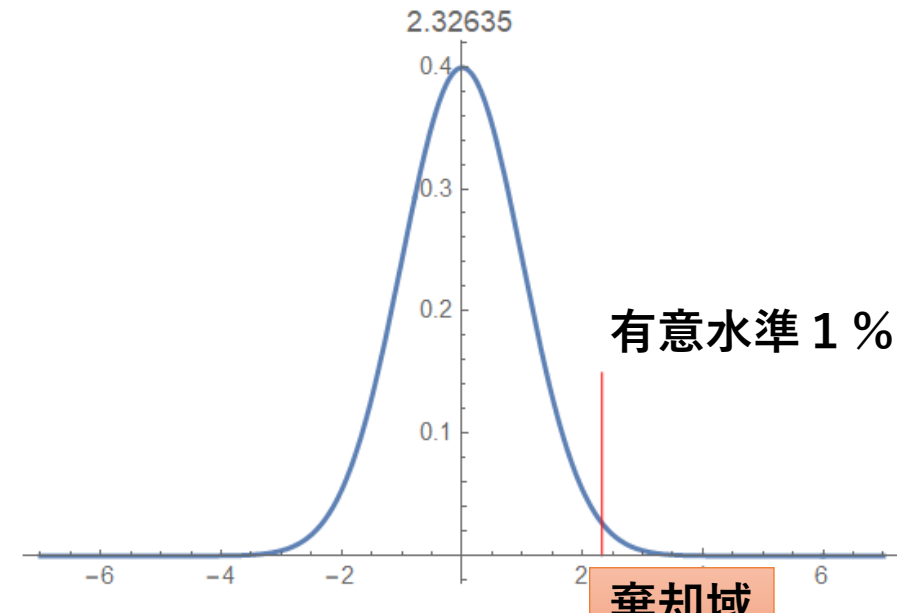
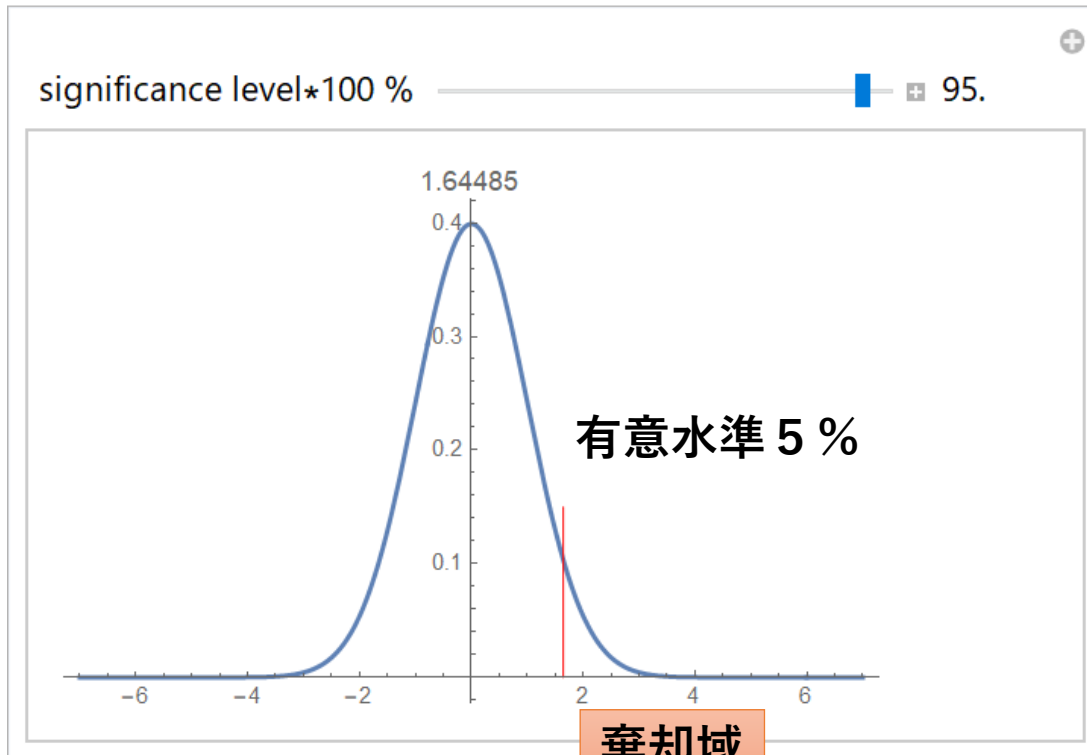
- どの位，母平均200 g から小さければ，帰無仮説棄却，となるのか？
- はしっこの方に標本平均値が落ちれば，帰無仮説棄却
- 有意水準 α 殆どの場合 5 %か 1 %に設定



このグラフでは重さをそのまま x 軸にしているが，普通，標準化した値を使って仮説検定する

仮説検定：片側検定の別の例

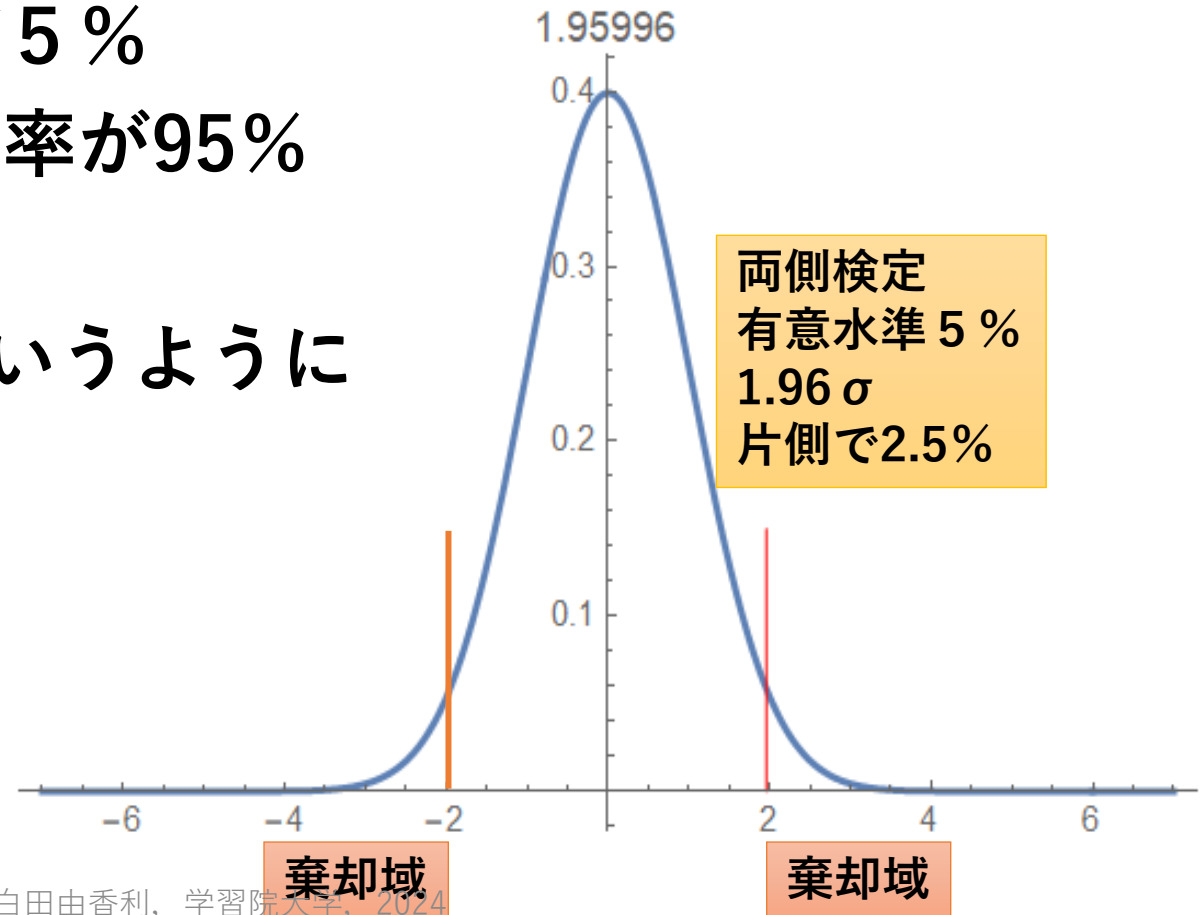
- 歯車の直径が100mmであるはずなのに、なんだか大き目で穴に入らない。困った。
- 帰無仮説：歯車の直径の母平均は100mmである。
- 対立仮説：歯車の直径の母平均は100mmより大きい。 $\mu > 100$
- 全体の5%の端か、1%の端か？ 有意水準 α



仮説検定：両側検定

真中あたりにあるのか、否か

- 50 g の袋詰めの場合，多くても少なくても困る → 両側検定
- 右端と左端の棄却域合計が 5 %
- ということは，真ん中の確率が 95 %
- 1.96σ
- 対立仮説は $\mu \neq 200$ というように立てる
(非常に小さい場合と非常に大きい場合、帰無仮説棄却となる)

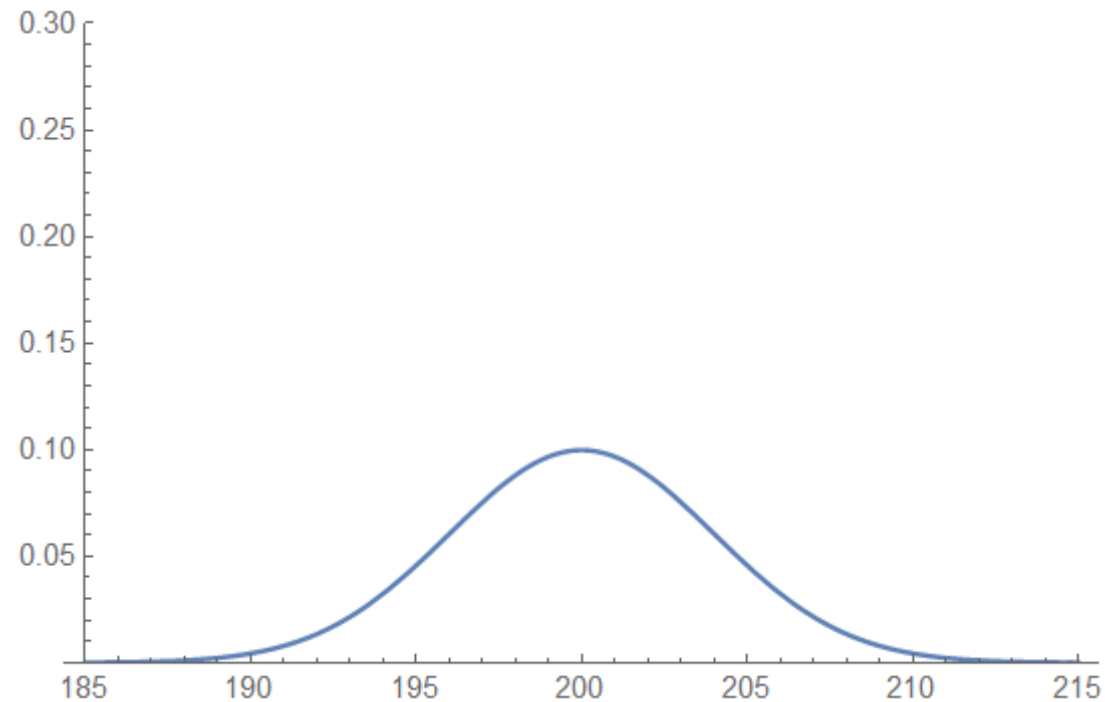


正規母集団に対する仮説検定の例

コロッケは200 g あるのか？

少ないと疑うので，片側検定

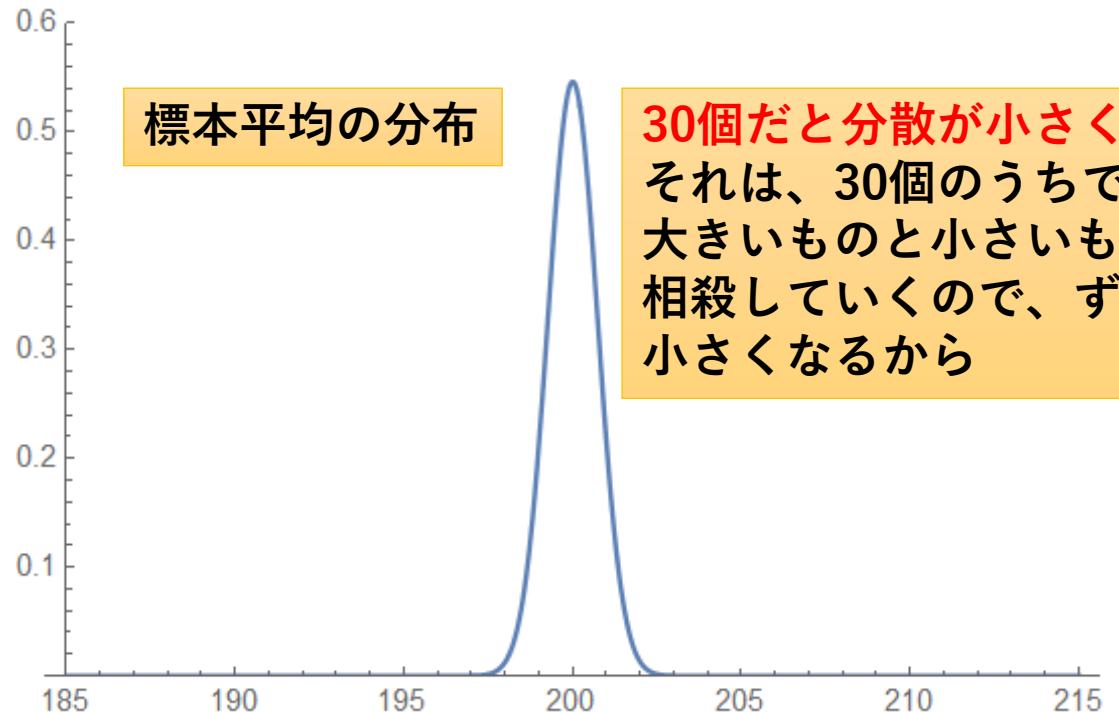
コロッケ1個の重さの確率分布
 $N(200, 16)$



30個の標本の重さを測る

標本平均の確率分布は中心極限定理より

$N(200, \frac{16}{30})$ 分散は1個の分散値を $n=30$ で割り算する



正規母集団に対する仮説検定の例 コロッケは200gあるのか？

標準化した正規分布で考える

- 193.6(標本平均)は、理論上の平均値200から、何標準偏差分ずれていますか？と考える。
- 理論的に、正規分布で下5%は σ 1.64個分ということが既に分かっている

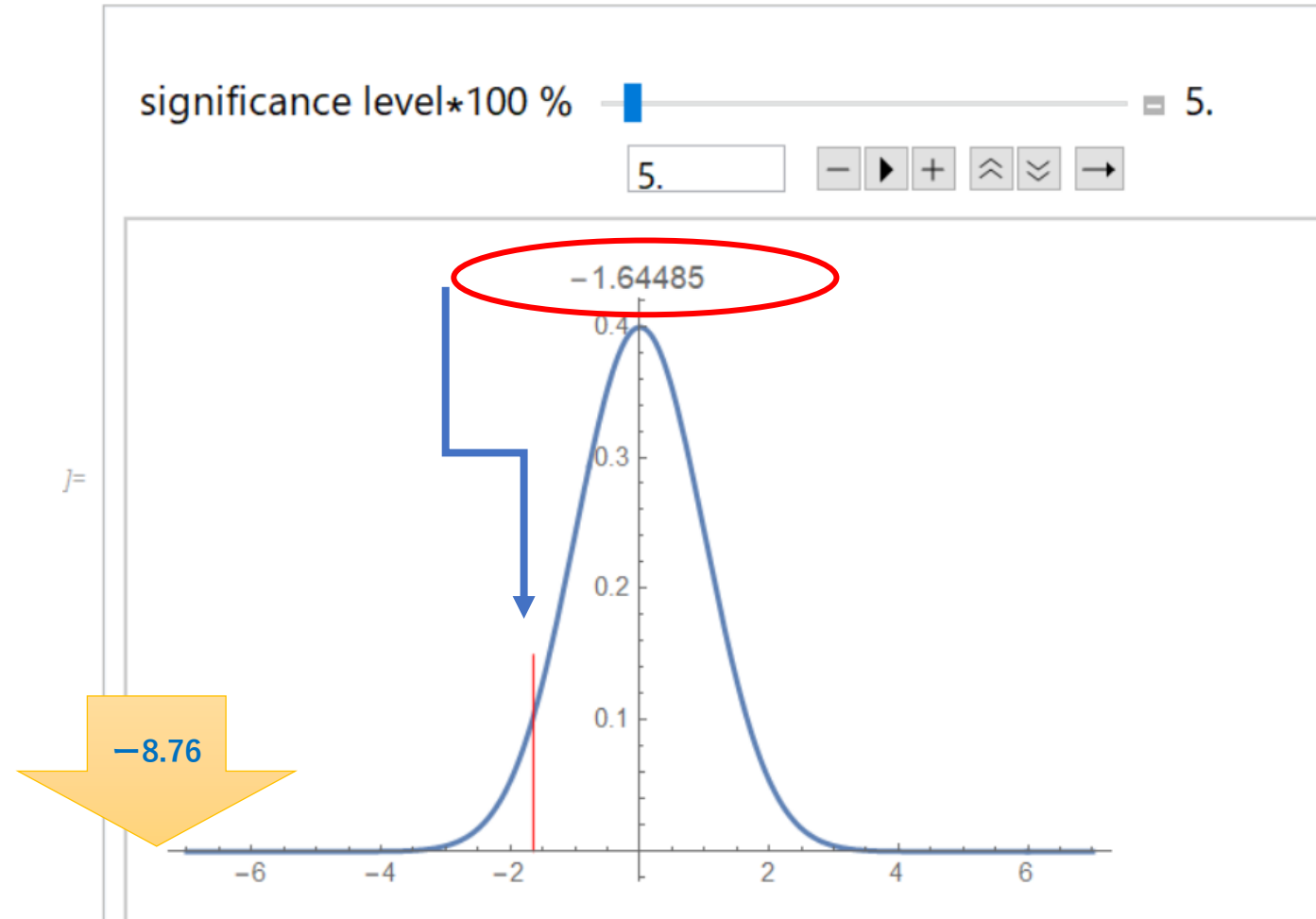
• 標準化
$$\frac{\bar{X} - \mu}{\sqrt{\left(\frac{\sigma^2}{n}\right)}} = \frac{193.6 - 200}{\sqrt{\left(\frac{16}{30}\right)}}$$

$$(193.6 - 200) / (16/30)^{0.5}$$

$$= -8.76356 < -1.64$$

帰無仮説棄却領域なので、

帰無仮説棄却



正規母集団の分散（母分散） σ が不明 のときは t - 分布

- 母分散を標本分散（不偏分散） s^2 で代用する

$$s^2 = \frac{1}{n-1} \sum_{k=1}^n (x_k - \bar{X})^2$$

- 正規分布ではなく、スチューデントのt分布を使う。
- <https://www-cc.gakushuin.ac.jp/~20010570/VDStat/>

- $t = \frac{\bar{X} - \mu}{\sqrt{\left(\frac{s^2}{n}\right)}}$

母分散 σ が分かっているときはこの式だった。その σ をの代わりに s を使う

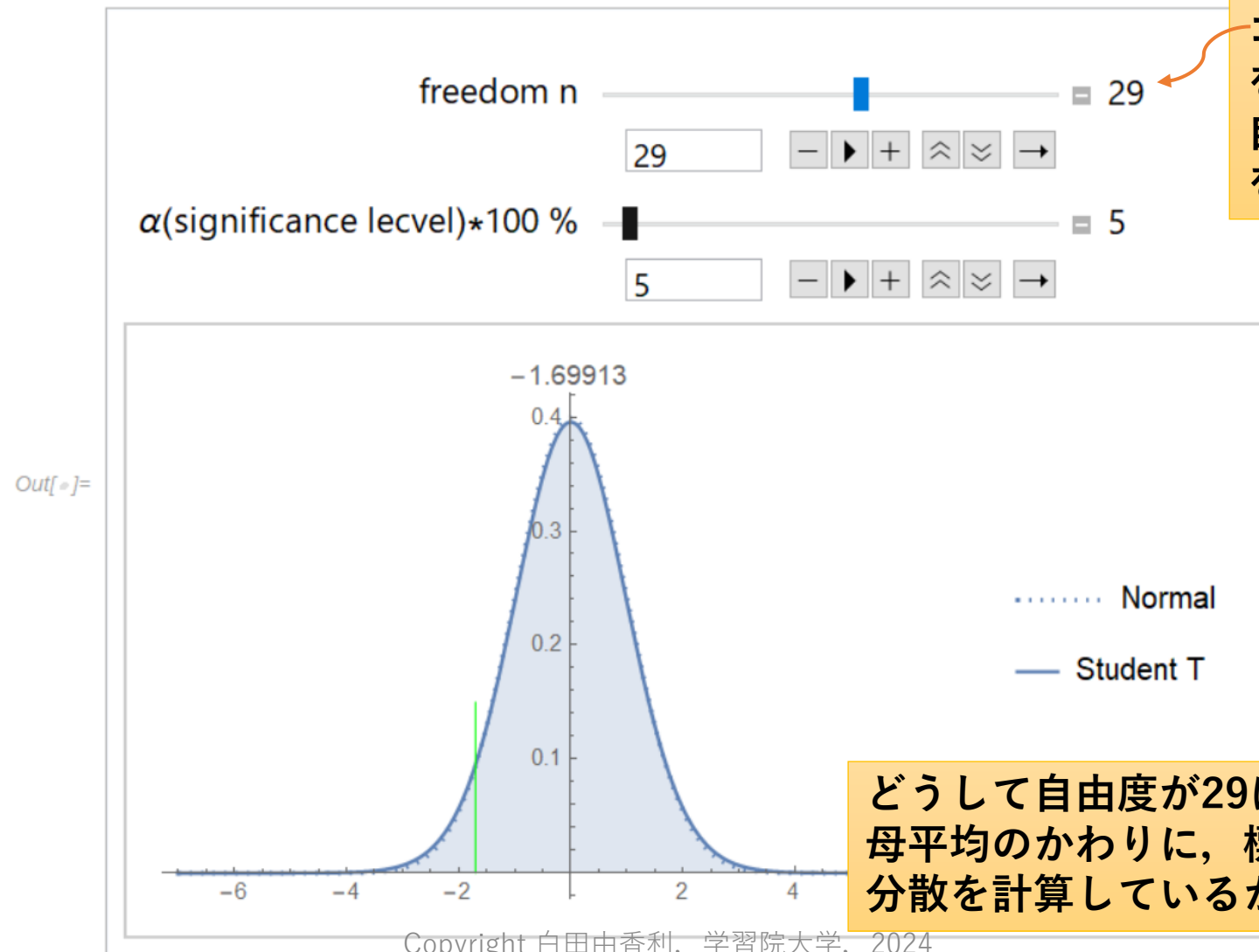
$$\frac{\bar{X} - \mu}{\sqrt{\left(\frac{\sigma^2}{n}\right)}}$$

中心極限定理より
標本平均の分布の
分散は小さくなる。

スチューデントのt分布

<https://www-cc.gakushuin.ac.jp/~20010570/VDStat/>

•



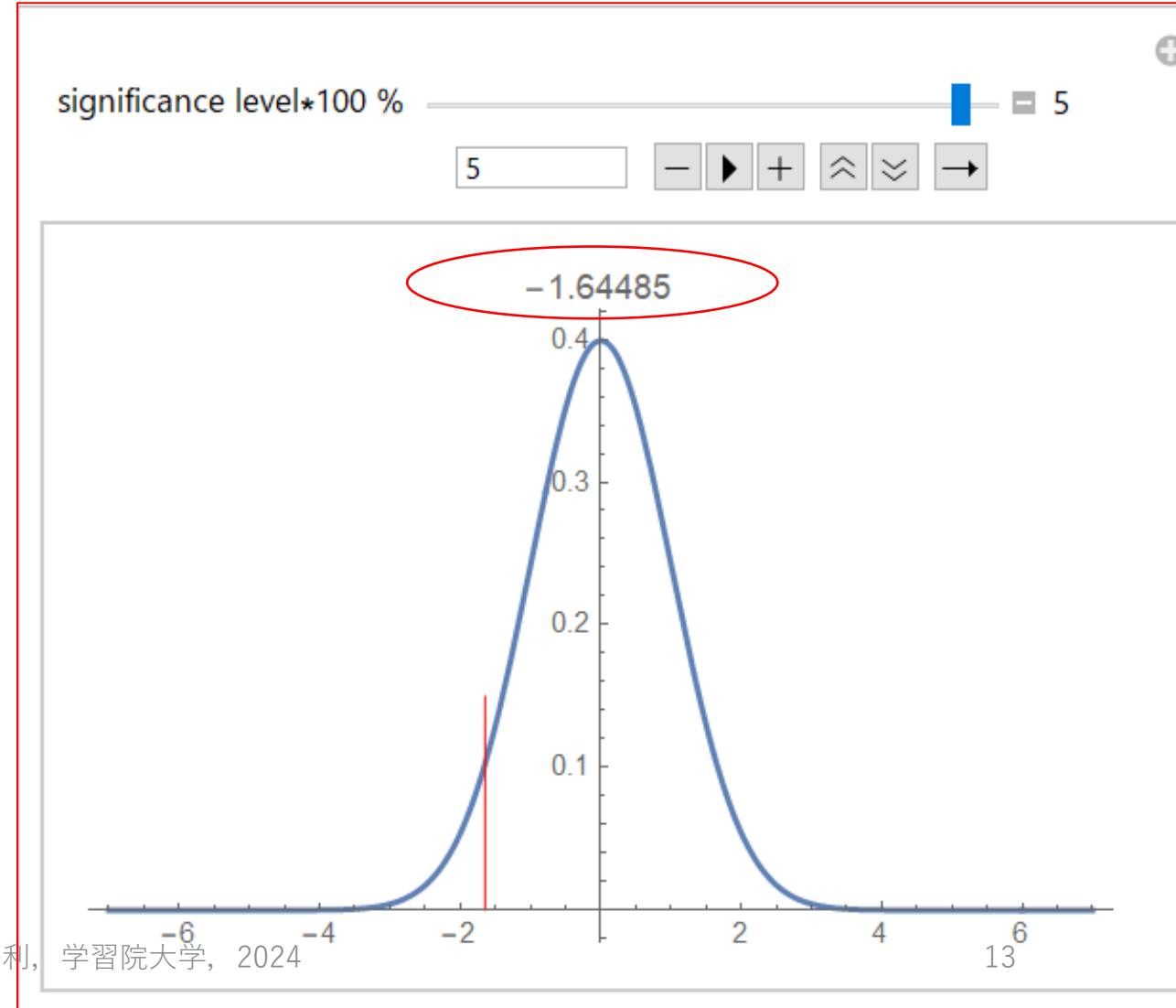
コロッケ30の平均を使うならば、自由度29の t分布を用いる

どうして自由度が29になるのか？
母平均のかわりに、標本平均を使って分散を計算しているから自由度が1減っている

課題 # 11

解答は小数点以下2桁まで書くこと。
途中の計算では、小数点以下4桁程度まで長くにとって計算せよ

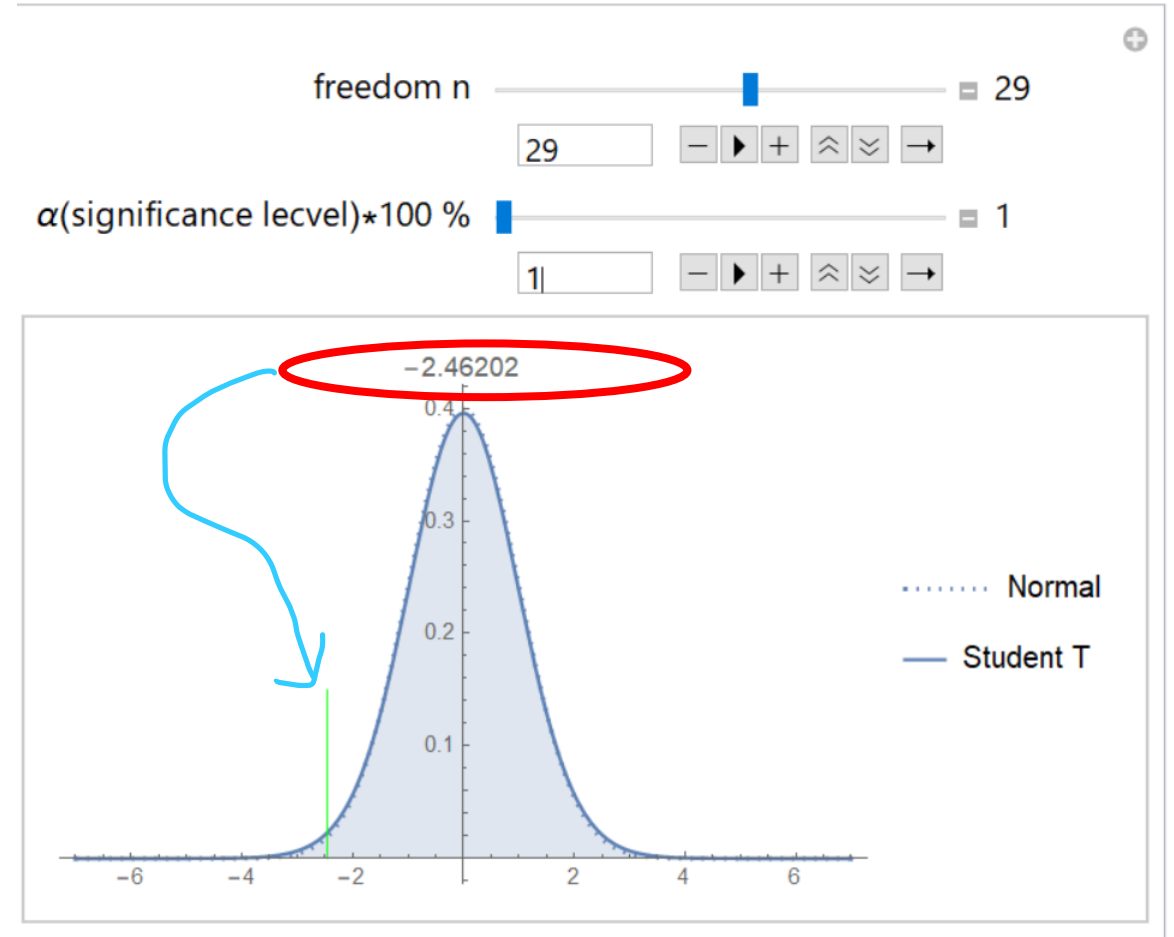
- 250g であるというハンバーグがあります。この重さ1個の母分散は100。
 $N(250, 100)$
- 標本(30個) の標本平均は 249.2gだった
- 母平均は250g であることを, 有意水準5%の片側検定でテストせよ。
- まず、標本平均値を求めてください。
- 次にその標準化した値を計算する。
- 検定には標準化された正規分布を使う (右図)
下から5%の境界値は-1.64485
- 帰無仮説: $\mu = 250$
対立仮説: $\mu < 250$
有意水準5%で仮説検定せよ。
結論は以下のどちらか?
理由とともに自分で書き写すこと。
 1. 帰無仮説は棄却されたので、母平均の重さは250gより小さいと言える
 2. 帰無仮説は棄却されなかったので、母平均の重さが250g であることは否定できない。



課題 # 12

解答は小数点以下2桁まで書くこと。
途中の計算では、小数点以下4桁程度まで長くにとって計算せよ

- 250 gであるというハンバーグがあります。この重さ1個の母分散は不明です。 $N(250, ?)$
- 標本(30個)を取って測定した結果は
242: 5個、239: 5個、240: 5個、250: 6個、241: 4個、
238: 5個 でした。
- 母平均は250 gであることを、有意水準1%の片側検定で検定せよ。
- まず、標本平均と**標本分散** s^2 を求めてください。
- 次に標本平均値の標準化した値を計算せよ。
- 検定には標準化された自由度29のt分布を使う（右図）
下から1%の境界値は-2.46202
- 帰無仮説： $\mu = 250$ 、
対立仮説： $\mu < 250$
有意水準5%で仮説検定せよ。
結論は以下のどちらか？
理由とともに自分で書き写すこと。
 1. 帰無仮説棄却されたので、母平均の重さは250gより小さいと言える
 2. 帰無仮説は棄却されなかったので、母平均の重さが250 gであることは否定できない。



男女で味の好みに違いがあるか？

χ^2 検定

独立性の検定

分散のようすが男性と女性で同じかどうか

χ^2 検定 独立性の検定

ジェンダー独立
⇒男女に関係ない
男女で同じ，という意味

- マーケティングで、女性と男性で好みに違いがあるか否か、県による味の好みの違いがあるか否か、などに用いることができる。
 - 帰無仮説：男女で違いはない（独立である）
 - 対立仮説：男女で違いがある（独立ではない）
- コロナの致死率で、女性と男性で違いがあるか否か、県による違いがあるか否か、などに用いることができる。
- 企画などを通すときにも、「数字を見ている何となく違いがあるようだ」では意見が通らない。仮説検定の結果を見せる必要がある。
- χ^2 検定 は母分散についての検定に使われるが、ばらつきについて検定する基準として近似的に使われる。

カップラーメンの味の好みの独立性検定

- シロクマ食品は新商品として、キャラメル味のカップ麺を開発しました。解答は、**美味しい**、**まずい**、**無回答**の3種類です。
- 男女のそれぞれの回答数を分割表にしました。
- 男女で味の好みの違いがあるか、有意水準5%で検定せよ。

	In Favor(F)	Against (A)	No Opinion (N)	
Men	60	70	12	142
Female	15	32	6	53
	75	102	18	195

男女の差がない（ジェンダーに独立）の場合、どうなるか→理論値を計算

- 男女差がないとしたら、回答「美味しい」の確率は $75 \div 195$

	In Favor(F)	Against (A)	No Opinion (N)	
Men	60	70	12	142
Female	15	32	6	53
	75	102	18	195
	男性の確率	0.73		
	女性の確率	0.27		
	genderに独立の場合それぞれの意見の確率は			
	0.38	0.52	0.09	1

- 男女差がない場合
- 男性で「美味しい」と回答する人の数の理論値は $142 \times (75 \div 195) = 54.615$ [人]

問題：理論度数が以下の黄色になることを確かめよ。

- Expected 理論によって予測された、という意味
ジェンダー独立であれば、予測値は？

	In Favor(F)	Against (A)	No Opinion (N)	
Men	60	70	12	142
Expected	54.62	74.28	13.11	
Female	15	32	6	53
Expected	20.38	27.72	4.89	
	75	102	18	195

独立性の検定

O: Observed (観測値)


E: Expected (予測値)

$$\chi^2 = \sum \frac{(O - E)^2}{E}$$

予測値からどの程度ずれているかを表す
この統計値 χ^2 が大きい場合、男女で差がないとは言えなくなる

問題： $\frac{(O-E)^2}{E}$ を自分で計算してたす

- 6個の値を足し算

	$(O-E)^2 / E$	$(O-E)^2 / E$	$(O-E)^2 / E$			
	In Favor(F)	Against (A)	No Opinion (N)			
men	0.531	0.246	0.094			
women	1.422	0.660	0.251			
	1.953	0.906	0.344			3.204

予測値からどの程度ずれているかを表す

$$\text{自由度は } (2 - 1) \times (3 - 1) = 2$$

ジェンダー独立の独立性の検定

帰無仮説：男女で違いはない（独立である）

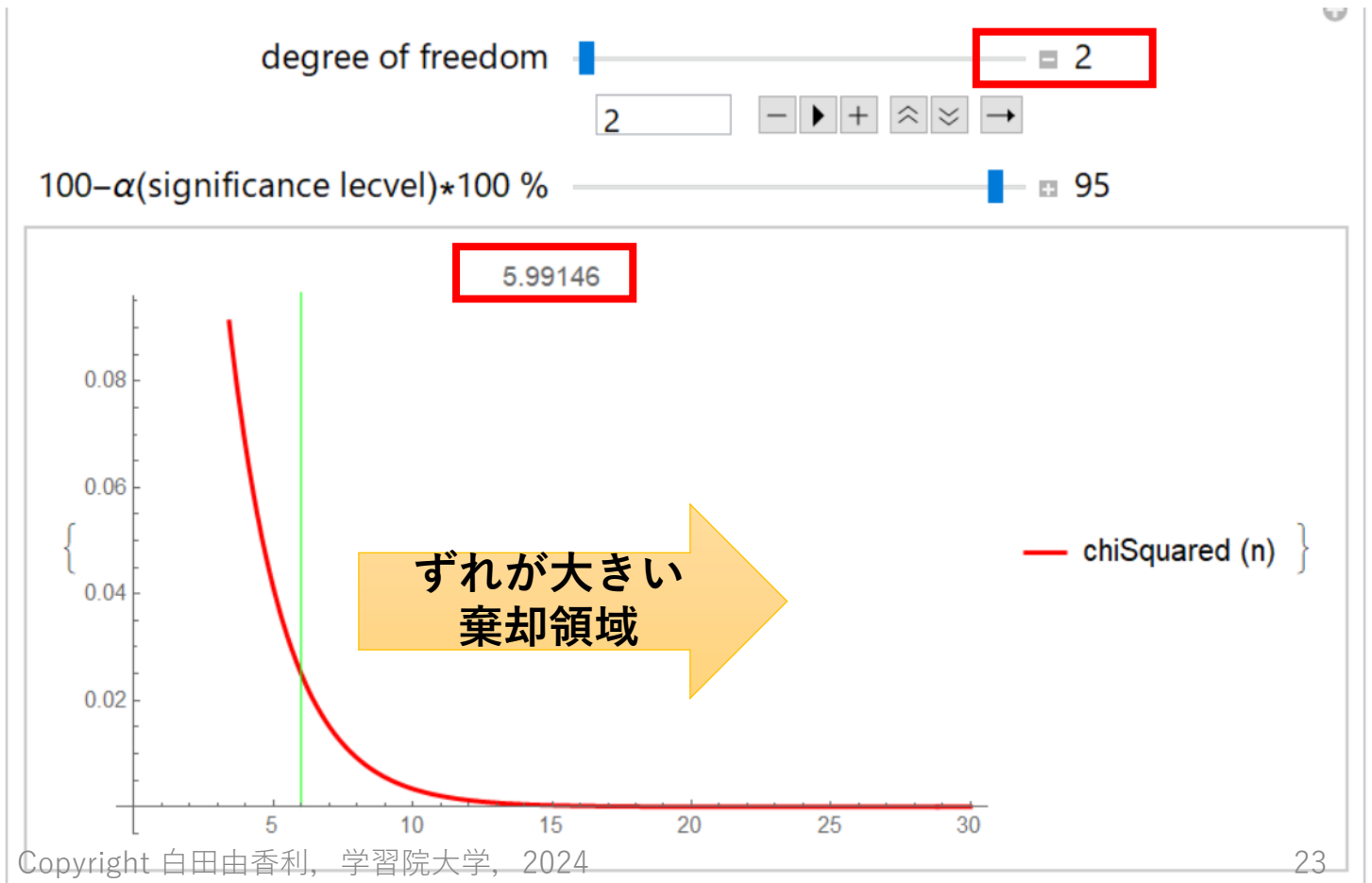
対立仮説：男女で違いがある（独立ではない）

• χ^2 値は χ^2 分布に従うことが分かっているので

χ^2 分布を使って、検定する

分布は何を使うか？ χ^2 chi-squared

- 自由度は $(2 - 1) \times (3 - 1) = 2$
- <https://www-cc.gakushuin.ac.jp/~20010570/VDStat/>
- 有意水準 5% で検定
- 棄却領域との境界値は、5.99
- χ^2 3.2 という値は棄却領域に入らない。
- よって、帰無仮説は棄却されない。
- 男女で違いはない、とすることは否定されない
- 積極的に証明されたわけではないことに注意。

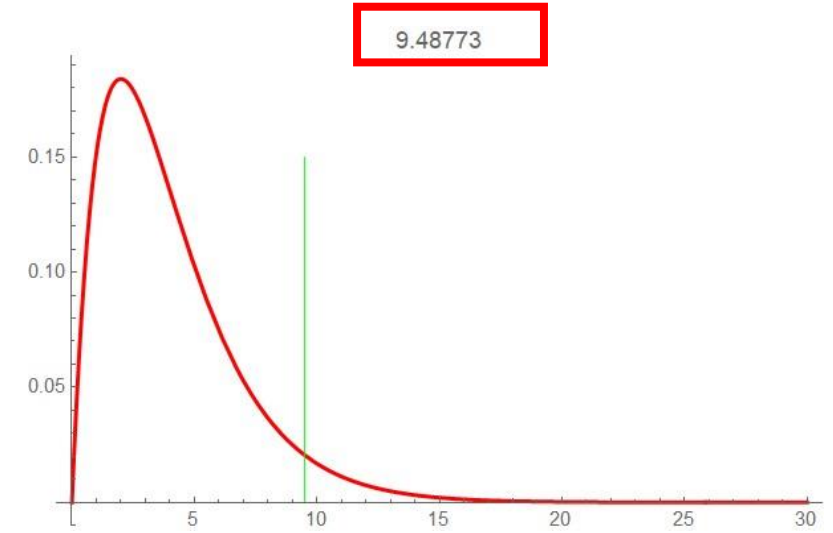


課題 # 13 回復確率が5都道府県で等しいか否か、有意水準 5 % で検定せよ。 XXXの値を計算して、その値と結論を記載せよ。

都道府県名		回復者数	死亡者数	県別合計		
A	観測値	34813	477	35290	$(O-E)^2/E$ XXX	18.31247
	期待値	34710	580			
B	観測値	15035	270	15305	0.022565	1.350215
	期待値	15053	252			
C	観測値	10404	192	10596	0.030513	1.825822
	期待値	10422	174			
D	観測値	7479	105	7584	0.051811	3.100251
	期待値	7459	125			
D	観測値	5032	172	5204	1.46051	87.39399
	期待値	5118	86			
		72763	1216	73979		
						113.8542
		回復確率	死亡確率			
		0.983563	0.016437			
		帰無仮説： 感染者のうち、回復する（死亡する）比率は5都道府県で等しい				
		対立仮説： 感染者のうち、回復する（死亡する）比率は5都道府県で等しくない				

XXX:小数点以下 3 桁で答えよ。

自由度 4 の χ 二乗分布： 5 % の限界値は9.49



課題 # 14

- GOOGLE COVID統計(2022/4/28参照) の値を使い, 感染者の回復する確率に関する, **東京大阪神奈川**の独立性を有意水準 5 %で検定せよ. 感染か死亡かしか選択肢はないと仮定せよ.
- WORDでA4 1枚でPDFで提出.



Google COVID 統計 (2022/4/28参照)

合計 | 日本

感染者数: 768万 | 死亡者数: 29,344

地域	感染者数↓	死亡者数
東京都	142万	4,310
大阪府	88.1万	4,906
神奈川県	69万	2,123
埼玉県	50.2万	1,430
愛知県	47.4万	2,011

